

チュニジア(1999年) マトマタの穴居住宅

チュニジアの南部、大塩湖ショット・エル・ジェリド(旅ルポ・3)から東の方向、地中海までの間の荒地にマトマタの集落がある。ここでベルベル人の穴居住宅を見学した。ベルベル人は北アフリカに昔から住んでいた先住民であるが、12-13世紀ころ、過激なアラブ人に追われて海岸から山岳地方に逃れ、やがてこの地方に住み着いたといわれている。政策で町作りが行われているが、まだ昔からの伝統的な穴居住宅が多く残され、住んでいる人たちもいて観光用に公開されている。

裸土の荒地にクレータの様な大きな竪穴が掘られている。住宅はその竪穴のくぼ地を中庭として、横穴が掘られていて、そこが住宅になっている。外敵から身を隠す目的もあったと思うが、見学してみると、暑い日ざしをさける居住空間として、かなり利にかなっているものだ。



(写真1左)マトマタ地方の風景。荒れた土地である。写真の中央から左に向かって木が生えているが、そこに竪穴がある。遠くからの展望では判らない。



(写真2右)竪穴の上から覗くと横穴が見える。それが住居になっている。白い色は石灰を塗布していて、虫除けと思われる。上の穴は物入れ。



(写真3左)中庭から上を見た所。各家には一応扉がついている。



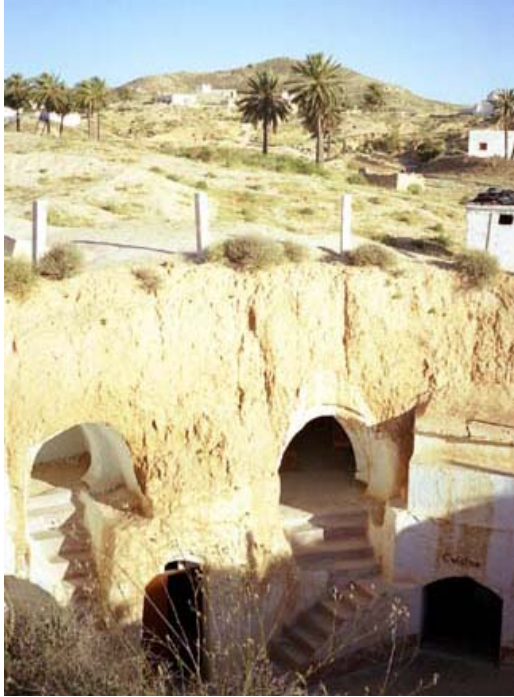
(写真5)老婦人の部屋。



(写真4)見学した家の入り口。

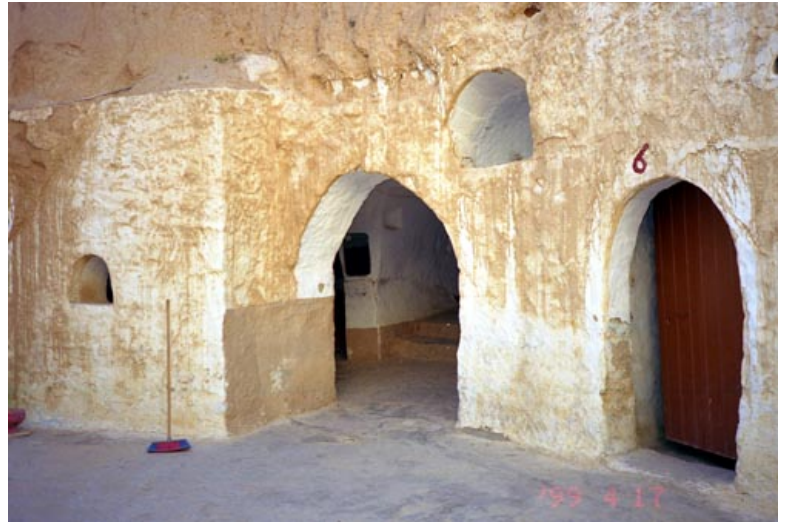
観光用として公開されている老婦人の家の内部を見学する。台所と寝室の二間だが、中は小奇麗だし、涼しく快適である。ベッドの上の肖像画が若く美人の絵なので、「娘さん？」と聞いてみたら、「自分の若い時に描いてもらったものだ」とにっこりと微笑んだ。入り口の上にある手形は「ファティマの手」と呼ばれている魔除けで、チュニジアでは至る所で見られるし、ストラップのみやげ物にもなっている。ファティマはイスラム教の始祖であるムハンマドの娘さんの名前である。おそらくここはムハンマドの継承者を崇拜するシーア派イスラムと思われる。

宿泊したホテルの近くに「マルハラ」という穴居住宅を利用したホテルがあるといので、見学に行った。ホテルとして利用されているくらいだから、規模は少し大きい。



(写真6左) 上から見たホテル「マルハラ」。二階建てで階段がある。

(写真7下) ホテルの内部。数字は部屋番号



ガイドの話では映画「スターウォーズ」のロケがこのホテルでされたということだ。映画を見ていないのでどういう場面に使われたのか知らないが、ここも使われているかとバーテンに聞いたら「イエス」といったので、穴蔵のバーでビールを飲んでいる自分の記念写真を撮っておいた。



(写真8上) 一般住宅の竖穴の上に繋がれていた駱駝。

ここでは車が走れる道はない。

ベルベル人はモロッコ、アルジェリアと北アフリカで広範囲に住んでいる先住民族である。むしろ人口的にはチュニジアは少ない。ここと近くにタメズレという村が有名だが、異文化体験ができる場所である。